

新規事業の有望性 10社に評価証交付

県産業経済振興センター

県産業経済振興センターは29日、新規事業の有望性や発展性などを総合評価する事業可能性評価事業の本年度評価証交付式を岐阜市内で開き、最も評価の高い「A評価」の企業10社に評価証を交付した。

同事業は、新規性のある製品や新技術で経営革新に取り組む中小企業の事業計画の中から、経営者や専門家でつくる審査委員がA、Cの3段階で評価する。A評価を得ると、融資が受け

やすくなるほか、投資家向けビジネスプラン発表会への優先的出展などの支援が受けられる。

本年度は20件の応募があり、10件をA評価に選定。交付式では、同センターの中島守理事長がA評価の企業の経営者らに評価証を手渡した。

A評価の企業は次の通り。

オオノ(美濃市)桜井食品(美濃加茂市)重澤製菓店(飛騨市)鈴研・陶業(多治見市)津田工業(各務原市)日本カットコミユニケーション協会(岐阜市)飛騨フォレスト(下呂市)ヒューマニック(美濃加茂市)PLUS(関市)緑水庵(岐阜市)



事業可能性評価でA評価を受けた企業の経営者ら＝岐阜市数田南OKBふれあい会館